

シリーズ レジ袋 削減に向けて

第1回
なぜ、レジ袋を
削減(有料化)するの？

問合せ先 環境課
☎35-3467

10月1日から、レジ袋の使用量削減などを目的として、市内のスーパーなどで無料配布が中止となります。

今回から5回にわたり、レジ袋削減の取組みを通して、地球温暖化対策などについて考えていきます。

私たちの便利な暮らしは、大量の資源とエネルギーの消費に支えられています。しかし、その結果、大量の二酸化炭素が排出されて地球温暖化が進行し、各地で大雨や洪水などの異常気象が起きます。

地球温暖化を防ぎ、地球環境を守るために、私たちは何をしなければならぬのでしょうか。毎日の暮らしの中でいろいろ取組みが考えられますが、レジ袋を使わない(断る)こともその一つです。

一見とても小さな行動に見えますが、一人ひとりが取り組みれば、大きな効果が期待できます。例えば、高山市全体で使われるレジ袋の使用量(年間約2500万枚)の約80%を削減すると、二酸化炭素の排出量を年間約1千トンも減らすことができます。

環境にやさしい生活スタイルに向けての第一歩として、買い物時にマイバッグを持参するなど、レジ袋を使わない暮らし方を始めてみませんか。

資源リサイクルセンターなど つぶさに見学

市では町内会長、市政モニターを対象に市の施設見学を行いました。

この行事は、さまざまな市の施設を見学し市政への理解を深めてもらうと毎年開催しているもので、今年度は合計192人が参加。資源リサイクルセンターや合併記念公園として整備が進む美女高原など4カ所を見学しました。

問合せ先

市民活動推進課
☎35-3412



美女高原(朝日町)の合併記念公園を見学する参加者のみなさん

町内会長・市政モニター

町内会長に防災ヘルメット

災害時における市民の避難誘導など、地域で中心的な役割を果たしていた町内会長に「防災ヘルメット」を配付しました。



●友好都市平塚市との交流

奥飛驒の鶏芸 平塚の地に舞う

市民ツアーでは七夕まつりを満喫

「第58回湘南ひらつか七夕まつり」開催中の7月4日から2日間、市民ツアー総勢34名が平塚市を訪問しました。

初日は大藏平塚市長出席による歓迎式の後、竹かざり日本一を誇る夜の七夕まつりを満喫、翌日は友好都市提携のきっかけとなった平塚八幡宮などを訪れました。

また、5日、6日には奥飛驒温泉郷一重ヶ根鶏芸保存会(和田邦彦会長)が伝統芸能を披露。道中の舞や円陣を組んでの舞など、鮮やかな衣装で鉦を打ち鳴らし、多くの観客を魅了しました。



七夕まつりで鶏芸を披露する保存会のみなさん